

新任職員研修会

5月21日にけやきの村にて法人内の新任職員10名を対象に新任職員研修会を開催しました。

当法人の理念や職員としての行動規範を始め就業規則、キャリアパスを中心とした人事制度、そして障害福祉サービス、障害者虐待防止について理解を深めて頂きました。



けやきの村協力会役員会開催

けやきの村協力会役員会が、去る5月18日けやきの村集会所において開催されました。

平成27年度会務報告・平成28年度事業計画が協議され了承されました。近年、新規加入者は少ないものの、今後も引き続きけやきの村の発展と障害者・高齢者への福祉の向上のため、協力することを稲場会長を中心に確認しました。



24時間テレビ「愛は地球を救う」チャリティー募金 福祉避難所に対する蓄電池設置事業

リチウムイオン蓄電システムが5月13日、青松苑に設置されました。

今回の助成により、非常時の電源として活用し、PC等による情報の確保、医療機器の使用、通信機器の充電等の使用及びライフラインをカバーし、災害に強い福祉避難所として、万が一の災害発生に備えます。



苦情解決委員会 第15回苦情解決委員会の開催

平成28年6月8日けやきの村集会所において、第15回苦情解決委員会が開催されました。協議に先立ち4月の人事異動にて新たに苦情受付担当者となった2名に対して理事長より辞令が交付されました。委員会は第三者委員、理事長、常務理事、各事業所の苦情解決責任者、受付担当者を交え行われましたが、昨年度は苦情がなかったため各事業所の苦情に対する取り組みなどが報告されました。

◎平成27年度における各施設の苦情に対する取り組みについて
 ■けやきの村

・普段から相談や要望の段階で丁寧な話を聞くことなどしており、そのようなケースでもスタッフ全員で問題の共有を図り苦情を未然に防ぐよう努めています。また言葉遣いや統一したケアなどにも注意して支援にあたっています。

■青松苑
 ・昨年、職員の対応について利用者から相談がありました。その後解決責任者が相談者の話をよく傾聴し丁寧に分かり易く説明を行った結果、相談者も納得し苦情には至りませんでした。

■静心園
 ・相談事はありませんが、その都度丁寧に説明を行っています。何でも職員に言っていただけける状況作りが大切かと思うので、友

の会との話し合いやグループワークやお茶会等で直接話しを聞く場を設けています。

■桃の里
 ・職員には些細なことでも全て報告してもらおうこととしており、苦情の前の段階で問題を解決しています。また一人暮らしの利用者が多いなか、将来についての不安を訴える方も少なくありません。できるだけ利用者寄り添い丁寧に話しを聞き分かり易く説明することを心がけています。それに加え包括支援センターは市の委託による実施している事業のため何かあった場合は、市の長寿福祉課と相談しながらトラブルにならないよう対処しています。

■第三者委員から
 ・身体、知的とさまざまな障害者、高齢者がおられるなかで、職員の皆さんは相談や要望を丁寧に聞き苦情に至る前の段階で未然に防いでいるという事で、よくやられていると思います。が、職業柄利用者の方に対しての言葉遣いに

第三者委員 任期：～平成29年5月31日

氏名	住 所	電話番号
鈴木チイ子	福島市飯坂町平野字久根角 41-16	024-542-1734
矢吹友市郎	福島市成川字上谷地 35	024-546-9122
菊嶋 健一	福島市飯坂町平野字田下 25-3	024-542-0845

各事業所担当者 任期：～平成29年5月31日

施設(事業所)名	苦情受付担当者		苦情解決責任者	
	氏名	所属	氏名	所属
けやきの村	生活介護事業所	宮川 聡	舟山 信悟	
	就労支援(B型・移行)事業所	景井 正明	舟山 信悟	
	ヘルパーステーション事業所	越川 美幸	舟山 信悟	
	指定特定相談支援事業所	菅野 義則	舟山 信悟	
障害者支援施設青松苑	宮下金一郎	渡辺 実		
障害者支援施設静心園	阿部美佐子	興石 哲弥		
桃の里	指定通所介護事業所	斎藤千津子	黒津堅一郎	
	福島市飯坂北地域包括支援センター	鈴木 盛夫	黒津堅一郎	
	指定居宅介護支援事業所	佐藤 幸江	黒津堅一郎	



は気を付けて頂きたいと思えます。また利用者の皆さんが日々快適な生活が送れるよう引き続き努めて頂きたいと思えます。